

第1章 商品売買

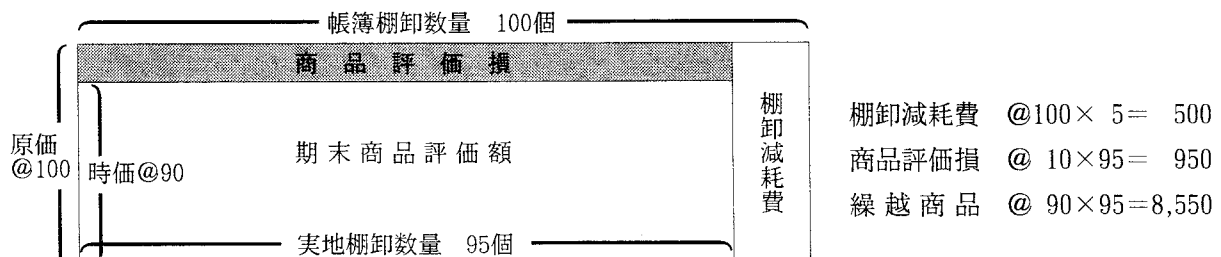
学習の要点

- 分記法では、商品を仕入れたときは、仕入原価で商品勘定の借方に記入し、また販売したときはその原価で貸方に記入し、原価と売価の差額は商品売買益勘定（商品売買損勘定）で処理します。
- 商品勘定の分割には、3分法（仕入勘定・売上勘定・繰越商品勘定）、5分法などがあるが商品売買取引で3分法が広く用いられている。
- 商品の払出単価の決定方法には、原価法、計算価格法などがあるが、原価法は取得原価をもとにして払出単価を決める方法でいくつかの方法がある。
 - 個別法 ⇒ 払い出した商品の実際取得原価を個別に調べて算定する方法です。
 - 先入先出法 ⇒ 先に仕入れたものから順次払い出したものとして処理する方法です。
 - 後入先出法 ⇒ 後から仕入れたものから順次払い出したものとして処理する方法です。
 - 移動平均法 ⇒ 異なる単価の仕入が行われるつど、その数量及び金額を直前の残高数量および残高金額に加えて、新しい加重平均単価を算出し以後の払出単価とする方法です。
 - 総平均法 ⇒ 払出しのときは数量だけを記録し、一定期間末に繰越高と当該期間の仕入高の合計金額を繰越数量と仕入数量の合計数量で除して平均単価を算定しこれを期間中の払出単価とする方法です。
- 掛代金が支払期日以前の一定期間内に支払われた場合、一定率の割引を受けることがあります。
 - 買掛金について割引を受けた場合 ⇒ 仕入割引といい営業外収益に属します。
 - 売掛金について割引を行った場合 ⇒ 売上割引といい営業外費用に属します。
- 一定期間中の取引高が所定の金額をこえた場合、一定の割合で代金の一部が戻されることがあります。これを割戻しといいます。
 - 仕入高について割戻しを受けた場合 ⇒ 仕入割戻しといい仕入値引（戻し）と同様に処理します。
 - 売上高について割戻しを行った場合 ⇒ 売上割戻しといい売上値引（戻り）と同様に処理します。
- 商品などについて、帳簿棚卸高と実地棚卸高との差額は棚卸減耗費勘定で処理します。
 - 原価性のあるもの ⇒ 売上原価の内訳科目または販売費として処理します。
 - 原価性のないもの ⇒ 営業外費または特別損失として処理します。

商品などの評価損には、つぎの3つがあります。

 - 低価法の採用による評価損 ⇒ 売上原価の内訳科目または営業外費用として処理します。
 - 時価のいちじるしい下落による評価損 ⇒ 営業外費用または特別損失として処理します。
 - 品質低下・陳腐化による評価損 ⇒ 原価性のあるものは、売上原価の内訳科目または販売費、原価性のないものは、営業外費用または特別損失として処理します。

棚卸減耗費と商品評価損を図で示すとつぎのとおりです。



● 演習コーナー ●

問題 1 ● [三分法及び返品・値引・割戻し・割引]

1. 次の一連の取引の仕訳を示しなさい。なお三分法で行うこと。

- (1) ① 九州商店へ商品¥2,000,000を掛で売り渡した。
 ② 九州商店より上記商品のうち品違いがあり¥150,000の返品を受けた。
 ③ 九州商店へ上記商品の一部が品質不良のため¥20,000の値引きを行い、掛代金の残額は同店振り出しの小切手で受け取った。
- (2) ① 北海道商店へ商品¥2,000,000を「30日延べ払い、ただし10日以内に現金で支払うときは2%引き」の条件で掛売りした。
 ② 上記の売掛金について、割引有効期間内に支払いを受けたので2%の割り引きをした。代金は小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。

(1)	①		
	②		
	③		
(2)	①		
	②		

● メモ ●

演習コーナー

問題2 [商品有高帳]

1. 次のA商品の資料に基づき、(1)総平均法、(2)後入先出法により、商品有高帳に記入しなさい。

(資料) 9月1日 前月繰越 40個 @¥ 500 9月25日 仕 入 60個 @¥ 560
 . 7日 仕 入 60個 @¥ 520 28日 売 上 30個 @¥ 980
 15日 売 上 50個 @¥1,000 30日 売 上 45個 @¥1,020

商品有高帳

(1) A 商品

(総平均法)

日付	摘 要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額

(2) A 商品

(後入先出法)

日付	摘 要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額

● 演習コーナー ●

問題 3 ● [商品の棚卸減耗と評価損]

1. つぎにより下記の問いに答えなさい。

なお、期末商品棚卸高の評価は低価法を採用している。売上原価は、仕入勘定で計算する。

- 期首商品棚卸高 120,000
- 期末商品棚卸高
 - 帳簿棚卸数量 500個 実地棚卸数量 470個
 - 原 価 @200 時 価 @180

(1) 次の算式を完成しなさい。

棚卸減耗費 () × (() - ()) = ()
 商品評価損 (() - ()) × () = ()

(2) 決算に必要な仕訳を示しなさい。

- ① 期首商品棚卸高の振替
- ② 期末商品棚卸高の振替
- ③ 棚卸減耗費の計上
- ④ 商品評価損の計上

①		
②		
③		
④		

● メモ ●

演習コーナー

問題 3

2. 神戸商事株式会社の期末における商品の帳簿棚卸数量は2,000個、実地棚卸数量は1,800個であり、1個あたりの原価は¥30、時価¥25である。このことと、下記の総勘定元帳にもとづいて必要な仕訳を示し、各勘定口座の記入をして完成させなさい。

繰越商品			商品評価損		
前期繰越	30,000	() ()	() ()	() ()	() ()
() ()	() ()	() ()			
		() ()			

売上			仕入		
() ()	諸口	250,000	諸口	180,000	() ()
			() ()	() ()	() ()

棚卸消費税			損益		
() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()
			() ()		
			() ()		

(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		

問題2の正解

(資料) 9月1日 前月繰越 40個 @¥ 500 9月25日 仕 入 60個 @¥ 560
 7日 仕 入 60個 @¥ 520 28日 売 上 30個 @¥ 980
 15日 売 上 50個 @¥1,000 30日 売 上 45個 @¥1,020

商品有高帳

(1) A 商品

(総平均法)

日付	摘要	受 入			払 出			残 高			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
9	1	前月繰越	40	500	20,000				40	500	20,000
	7	仕 入	60	520	31,200				100		
	15	売 上				50	530	26,500			
	25	仕 入	60	560	33,600				110		
	28	売 上				30	530	15,900	80		
	30	売 上				45	530	23,850	35	530	18,550
	"	次月繰越				35	530	18,550			
			160	-	84,800	160	-	84,800			
10	1	前月繰越	35	530	18,550				35	530	18,550

(2) A 商品

(後入先出法)

9	1	前月繰越	40	500	20,000				40	500	20,000					
	7	仕 入	60	520	31,200				40	500	20,000					
												60	520	31,200		
	15	売 上				50	520	26,500	40	500	20,000					
												10	520	5,200		
	25	仕 入	60	560	33,600				40	500	20,000					
												10	520	5,200		
	28	売 上				30	560	16,800	60	560	33,600					
												40	500	20,000		
	30	売 上				30	560	16,800	10	520	5,200					
					5							500	2,500	35	500	17,500
	"	次月繰越			35							500	17,500			
			160	-	84,800	160	-	84,800								
10	1	前月繰越	35	500	17,500				35	500	17,500					

問題3の1の正解

- (1) 棚卸減耗費 $\{ 200 \} \times (\{ 500 \} - \{ 470 \}) = \{ 6,000 \}$
 商品評価損 $(\{ 200 \} - \{ 180 \}) \times \{ 470 \} = \{ 9,400 \}$

(2)

①	仕 入	120,000	繰 越 商 品	120,000
②	繰 越 商 品	100,000	仕 入	100,000
③	棚 卸 減 耗 費	6,000	繰 越 商 品	6,000
④	商 品 評 価 損	9,400	繰 越 商 品	9,400

問題3の2の正解

繰越商品

前期繰越	30,000	仕入 (30,000)
仕入 (60,000)		棚卸減耗費 (6,000)
		商品評価損 (9,000)

商品評価損

繰越商品 (9,000)	損益 (9,000)
--------------	------------

売上

損益 (250,000)	諸口 250,000
--------------	------------

仕入

諸口 180,000	繰越商品 60,000
繰越商品 (30,000)	損益 (150,000)

棚卸減耗費

繰越商品 (6,000)	損益 6,000
--------------	----------

損益

仕入 (150,000)	売上 (250,000)
棚卸減耗費 (6,000)	
商品評価損 (9,000)	

(1)	仕入	30,000	繰越商品	30,000
(2)	繰越商品	60,000	仕入	60,000
(3)	棚卸減耗費	6,000	繰越商品	6,000
(4)	商品評価損	9,000	繰越商品	9,000
(5)	売上	250,000	損益	250,000
(6)	損益	165,000	仕入	150,000
			棚卸減耗費	6,000
			商品評価損	9,000